

# はばたき

上中学校図書館通信

2020年5月号

学校司書 佐藤典子

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2,3年生の皆さん、ご進級おめでとうございます。

休校が続く、皆さんの顔を見ることができないままひと月が経ってしまいました。この期間、お家でどのように過ごしていますか？ 絵本『きんぎょがにげた』などで有名な作家の五味太郎さんは、「**休校はチャンス**」「**ふだんの何がつまらなかったのか、本当は何がしたいのか問えるとき**」と話されています(4/14 朝日新聞朝刊)。家の中にいても、たくさんの作家の言葉に触れることで、自分の興味の幅や知識をひろげることができます。時間のあるこんな時こそ、それぞれのお家で、できる形で読書を楽しんでください。(ちなみに、4/23は「**子ども読書の日**」、そして4/23～5/12は「**こどもの読書週間**」です。)

## ☆返却期限を延長しています

4/10に本を借りた人には返却期限を4/24と伝えていましたが、休校が延びましたので、期限を延長しています。通常授業が始まってからの返却で大丈夫です。本をなくさないよう大切に保管しておいてください。

## ☆「青空文庫」を知っていますか？

インターネットの電子図書館、「**青空文庫**」(<https://www.aozora.gr.jp/>)を知っていますか？ 作者の死後一定年数以上経って著作権が消滅している作品と、「自由に読んでかまわない」とされているものを、インターネット上で誰でも読むことができるように集めているサイトです。**江戸川乱歩、夏目漱石、太宰治、宮沢賢治**などの日本の文豪のほか、**アンデルセン、グリム、サン＝テグジュペリ**など、外国の著名な作家の作品も無料で読むことができます。「名前は聞いたことあるけど、読んだことないな」という作品を、この機会に読破してみるのもいいですね。

## ☆2019年度「上中人気本ランキング」発表！

昨年度、図書館でたくさん借りられた本を発表します！「何を読んだらいいんだろう…」と普段悩んでいる人はぜひ参考にしてください。「貸出人数」でカウントしています(同じ人が何回借りても「1人」としてカウントしています)。

第1位 (貸出人数15人)	『ソードアート・オンライン ①』川原礫 『東大ナゾトレ AnotherVision からの挑戦状 ②』 東京大学謎解き制作集団 AnotherVision
第3位 (貸出人数14人)	『東大ナゾトレ AnotherVision からの挑戦状 ①』 東京大学謎解き制作集団 AnotherVision
第4位 (貸出人数13人)	『ソードアート・オンライン ②⑤⑥』川原礫 『君は月夜に光り輝く』佐野徹夜

第6位 (貸出人数12人)	『ソードアート・オンライン ③④』川原礫 『天久鷹央の推理カルテ ②』知念実希人 『黒猫の小夜曲』知念実希人 『文豪ストレイドッグス』朝霧カフカ 『5分後に恋の結末』橘つばさ・桃戸ハル 『アオハライド ①』阿部暁子
第13位 (貸出人数11人)	『ソードアート・オンライン ⑦⑧』川原礫 『天久鷹央の推理カルテ ①⑤』知念実希人 『5分後に恋の結末解けない謎と放課後の密談』橘つばさ・桃戸ハル 『コード・ブルー ①③上下』林宏司・沢村光彦 『アオハライド ②』阿部暁子 『ストロボ・エッジ』阿部暁子 『いつか、眠りにつく日』いぬじゅん 『映画館に愛されすぎて困ってます』豊田美加
第25位 (貸出人数10人)	『ソードアート・オンライン ⑨⑩』川原礫 『東大ナゾトレ AnotherVision からの挑戦状 ③』 東京大学謎解き制作集団 AnotherVision 『5分後に意外な結末 ⑤』 『コード・ブルー ②』林宏司・沢村光彦 『文豪ストレイドッグス太宰治と黒の時代』朝霧カフカ 『火焰の凶器』知念実希人 『甦る殺人者』知念実希人 『優しい死神の飼い方』知念実希人 『スフィアの死天使』知念実希人 『幻影の手術室』知念実希人 『風に恋う』額賀滯 『いなくなれ、群青』河野裕 『小説響—HIBIKI』豊田美加 『スキキライ』藤谷燈子 『僕が名前を呼ぶ日』香坂菜里

『ソードアート・オンライン』シリーズと『東大ナゾトレ』シリーズ、そして映画化された『君は月夜に光り輝く』が上位でした。作家では知念実希人さんがとても人気でした。

→裏もあります

昨年度の「みんなのオススメ本」コーナーから



『風と恋』 額賀滯

吹奏楽、音楽が舞台です。先輩、後輩の関係で悩んだりしてませんか？悩んでる時はこの本を読んでみて下さい！音楽が好きの人にもオススメ！（H.O）

『やはり俺の青春ラブコメは間違っている』 渡航

主人公の性格のひねくれているところが好きです。「手が届かないブドウはすっぱいに違いない。でも、すっぱいブドウなんていらぬ。俺は…、俺は本物がほしい。」（ルフ♪）



今月の詩

天 山之口獏

草にねころんでくると

眼下には天が深い

風

雲

太陽

有名なもの達の住んでゐる世界

天は青く深いのだ

みおろしてゐると

体軀が落つこちなつになつてこわいのだ

僕は草木の根のやうに

土の中へもぐり込みたくなつてしまふのだ。

『おぼえておきたい日本の名詩100』

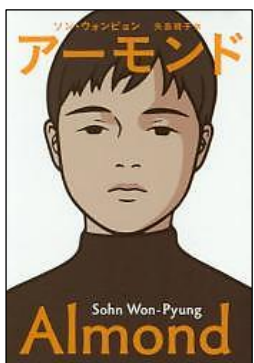
たんぽぽ出版 より

◆山之口獏(やまのくちばく)

一九〇三年沖繩県生まれ。二十歳の時に上京し、様々な職を転々としながら詩を書きまし  
た。一九六三年没。

人の集まる所にはもちろん行け  
ませんが、気持ちの良いこの季  
節、チャンスがあれば、草に寝転  
んで初夏の空気を思いきり吸い  
込みたいですね。

最近入った本の中から司書のオススメ



『アーモンド』 ソン・ウォンピョン

母や祖母の愛情を受けて育ちつつも、生まれつき脳の「扁桃体」が小さく、「怖い」「うれしい」などの感情がわからないユンジェ。一方、愛される経験に乏しく、周りに感情をぶつけて「強くなりたい」「誰かを傷つけたい」と願うゴニ。出会った二人はぶつかりながらもお互いを必要としていることに気づきます。

早いストーリー展開で映画を見ているよう。読みだしたら一気に最後まで読みたくなりますよ。本屋大賞翻訳小説部門で1位に選ばれました。

『太陽はひとりぼっち』 鈴木るりか

中学生作家だった(現在は高校生)鈴木るりかさんが書いた『さよなら、田中さん』の続編です。貧しいながらもたくましく、明るなお母さんとともに、大笑いしながら日々を生活している田中花実。今作では、突然姿を現した祖母タツヨの存在により、花実の日常は大きく揺さぶられます。人間の暗い部分もていねいに描きつつ、あたたかい気持ちにさせてくれる一冊。『さよなら、田中さん』からぜひ続けてぜひ読んでみてください。

